

中播磨新地域ビジョン検討に係るキーワード整理（分野別）

※【 】…【地名】：ビジョンを語る会（地名は開催地）、【デ】：地域デザイン会議
 【ヒ】：ヒアリング調査、【検】：第1回検討委員会（8/27）

分野	キーワード
<p>ツーリズム 振興 地域資源の 活用</p>	<p>[ツーリズム振興]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路城が有名すぎて、他が目立たない（姫路城中心の観光プランや公共交通アクセス）【デ】 ・姫路城という人を引きつけるものがある貴重さ（強み）を地元住民が自覚し、その上にプラスαを積み上げることが大事【姫路】 ・姫路城だけを見て帰る通過型観光ではなく、姫路城以外の魅力PRにより滞在時間を延ばすことが必要【姫路】 ・日帰りではなく、中播磨全体で何泊か滞在してもらえる旅行プランの作成【検】 ・観光客が観光地に溶け込み、気兼ねなく長期滞在できる観光スタイル（人と人とのコミュニケーションがキーポイント）【検】 ・アフターコロナに選ばれる観光地になるには住民の力が不可欠【検】 ・住民が安心して観光客を迎えられるような基盤整備が必要【検】 ・網干はたつの市の新舞子と昔から交流があるため、揖保川を挟んだ東西エリアで売り込んだ方が観光面では良いのではないかと【姫路】 ・観光地ではない坊勢島では、子ども向けの体験見学船を導入し、産業（漁業）を観光として見せている（幼少期の体験は30年後につながる）【姫路】 ・観光地やスポーツイベント等で来訪者に一番最初に接する人の対応が大事（親切・丁寧な対応でイメージが向上し、リピーターにつながる）【姫路】 ・観光産業はまだまだ開拓の余地がある（姫路を中心とした広域観光）【姫路】 <p>[地域資源の活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内唯一の世界遺産である姫路城があることで、副産物（姫路城とのコラボ商品等）等の波及効果がある【デ】 ・日本遺産に認定された「銀の馬車道」の活用【姫路】 ・コロナ禍の中で、実際に足を運ばなくても史跡・文化財等を見学できる映像をSNS等で試行的に発信（リアルな集客への波及を期待）【姫路】 ・目立った観光資源がなくても、「癒やし」「非日常」等のキーワードを使ってイメージで売り出すことは可能（町外の人にとっては魅力）【姫路】 ・市川町はゴルフアイアン発祥の地として魅力あるまちづくりを進めている【市川】

<p>交流 移住促進</p>	<p>[関係人口の創出]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観光」は観光地の見物等がメインであるのに対し、「交流」は地元住民との交流を通してファンを増やし、移住等による人口増につながる【姫路】 ・知らない地域に呼び込む「観光」は「交流」が芽生えるきっかけ(姫路城で引きつけた人を「交流」につなげる仕掛けづくりが必要)【姫路】 ・住民の高齢化が進む中、町外の若者と交流することで村を維持していきたい(週末滞在等による関係人口の増加)【神河】 <p>[移住促進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による都会集中型から地方分散型への変化の兆し【ヒ】 ・コロナ禍でリモートワークやサテライトが注目される中、田舎の魅力を発信(空き家や廃校等の利活用促進)【検】 ・Iターン等により都市部から新しい人を受け入れる際に、草刈りなど従来からの集落作業がハードルになる【神河】 ・企業や工場を誘致する代わりに、ワーケーションや移住など個人を呼ぶ時代(一人一人のオーダーやニーズに応えることが大切)【姫路】 ・出て行く若者を無理に引き留めるのではなく、外からの人(外国人含む)を受け入れ、仲間に取り込むことも大事(付き合い方次第でできる)【福崎】 ・リモートワークの普及により、自然豊かな地域での暮らしを希望する人が増えるだろう。畑付きの宅地(畑仕事や家畜の飼育など自分で食料を生み出せる土地付きの家)を売り出すことで、都市部からの転入者が増えるのではないかと【市川】 ・移住における迎え入れる側と受け入れてもらう側の意識、温度差(「お客様」から「同じ場所で暮らす一員」への関係性の進展が必要)【ヒ】 <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町を出て行った人は盆や正月には帰ってこないが、祭りには子どもを連れて帰ってくる(みんなで汗を流す「遊び」が地域活性化に)【福崎】 ・村の地域活性化委員会は、集団で物事に取り組むことに慣れておらず難航(地域を取りまとめて引っ張るキーマンの存在が重要)【姫路】
<p>多文化共生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少下において外国人を一住民として迎え入れられる地域をつくれるかどうか大きな鍵を握っている【姫路】 ・外国人労働者が日本語を勉強できる場所が必要。廃校により空いた校舎を利用して、日本語教室を開いてはどうか【市川】 ・耕作放棄地対策として農地の区画整理を行い、残ったいびつな農地(土地)を利用して、外国人の居住地域を整備してはどうか【市川】
<p>交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中播磨地域は県中央部に位置しており、神戸や但馬など県内各地へのアクセスが良い【デ】

<p>交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によって公共交通網に差がある【デ】 ・車社会のため車がない人（車を持たない観光客、免許返納した高齢者等）にとっては交通手段が不便【デ】 ・高い船代（片道1,000円）が家島へのアクセスのネック【姫路】 ・自動運転の進化により、高齢者が自由に移動できる社会に期待（通院・買い物時に自動運転による低料金タクシーを利用）【ヒ】
<p>産業振興</p>	<p>[先端技術の活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造業も自動化が進み、従来、職人に頼っていた作業が若い人でもできるようになってきた【姫路】 ・製造業も若者の力を借りながらデジタル化に挑戦（生まれたときからスマホやインターネットがある世界で育ってきた若者は発想が柔軟）【姫路】 ・これまでの伝統や技術をしっかり受け継ぎながら、IT化・スマート化等の新たな時代に対応していくことの両立が今まさに問われている【姫路】 <p>[人材育成、労働力の確保]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元中小企業の人材確保の難しさ（少子高齢化、都市部との採用競争）【ヒ】 ・若手後継者の育成が必要（十分な技術を持っていても、経営全体に目を向けるのに時間を要する後継者が多い）【姫路】 ・儲かる企業体質を作らないと後継者は育たない（儲かる事業であれば、モチベーションが向上し、積極的に勉強・活動する）【姫路】 ・いずれの業種も後継者不足が課題であるため、後継者を育成する施設を作り、伝統ある事業の継承を支援【市川】 ・IT教育を受けた人が今後どんどん増えれば、30年後に必要な人材が確保できるのではないか【姫路】 ・小学生向けの菓子アイデアコンテストや菓子教室等を開催し、菓子業界に興味を持つ人材を育成【姫路】 ・いくら人材育成、人材確保と言っても少子化で子どもの数が減っている問題を何とかしないと根本的に解決しない【姫路】 ・現場が求める仕事内容と若者が期待する仕事内容の間にあるミスマッチの解消に向けて、互いに歩み寄る努力をすることが大事【姫路】 <p>[新産業の育成、魅力的な仕事の創出]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進み地域の活力が低下する中、新しい産業の育成が必要（中播磨地域の強みを生かしつつ次世代産業を育成）【姫路】 ・航空宇宙分野などこれまで兵庫になかった仕事を播磨に引きつけることが大事【検】 ・商業では日本遺産「銀の馬車道」の活用による活性化に期待【姫路】 ・若い世代が住み続けたい、帰ってきたいと思えるためには「仕事を魅力的に見せること」と「魅力的な仕事を創ること」の双方が必要【ヒ】

<p>産業振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方企業の価値が見直され、多様な人のつながりにより豊かな仕事を自発的に生み出す土壌の形成が必要（「魅力的な仕事がない」という思考停止からの脱却）【ヒ】 <p>[地場産業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皮革産業も素材を提供するだけでなく、自分たちで商品を作って姫路ブランドを世界に発信することが大事（世界のデザイナーが姫路に集まるような魅力的な皮づくりをしないと 30 年後まで続かない）【姫路】 ・ 姫高皮革事業協同組合では、姫路工業高校と連携して将来のクリエイターを育成（デザイナーとして世界の頂点を目指す）【姫路】 ・ 菓子業界は閉鎖的であったが、2008 年の姫路菓子博で全国の菓子や技術に触れたことで職人が刺激を受け、業界が活性化【姫路】
<p>農林水産業振興</p>	<p>[担い手育成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業も若者に魅力的に映る仕事にしないとどんどん人が離れていく【姫路】 ・ 若者が山間地に入ってきて新規就農できるようにするには、制度等の見直しや地域側の受け入れ体制の整備が必要【神河】 ・ 林業も人材確保が課題（伐採は機械の導入が進んでいるが、木を植えて育てるのは人海戦術）【姫路】 ・ 漁業に魅力を感じない人が増え、漁協組合員が減少（若者が島外へ流出）【検】 ・ 漁業見学船で、魚離れの進む小学生向けに漁業の現状・魅力を発信することで、将来の漁業従事者が出てくることを期待【姫路】 ・ 第一次産業は体力勝負であるため、若者から敬遠される（儲からないと後継者も育ちにくい）【姫路】 <p>[儲かる第一次産業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で国内の食糧自給率アップが求められる中、「儲かる第一次産業」が今後のキーワード（国内のサプライチェーンの回帰）【姫路】 ・ 第一次産業で儲けるためには、消費者に近いところと連携し、卸業者による中間マージンを減らすことが必要【姫路】 ・ 子どもに漁業を継がせるのが当たり前だった時代には、収入面の裏付けがあった（儲かるのであれば今でも親は漁業を継がせるはず）【姫路】 ・ 第一次産業は自然(天候)との戦いであるため、なかなか「儲かる」とリンクしにくい(自然に左右されない農業等の工業化が必要)【姫路】 ・ 第一次産業の I ターン者は必ずしも収入目当てばかりではないので、彼らの価値観を知ろうとすることも大事（世代間ギャップの存在）【姫路】 ・ 農業では、儲けだけではなく、儲け度外視でも集落営農等で農地を守っていく（農地保全）という考え方もある【姫路】

<p>農林水産業 振興</p>	<p>[農業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進的な技術を活用したスマート農業を導入していかないといけない（若者に魅力的に映り、作業の効率化も図れる）【姫路】 ・大消費地・姫路の周辺に農村地域があり、地産地消ができる【デ】 ・農業では、名産のもちむぎを基盤に6次産業化を進めたい【福崎】 ・農業主体の福崎町でも若者の農家離れが進み、耕作放棄地が増えているため将来が不安（地域の景観が損なわれていく）【福崎】 ・人口は減るが農地はそのまま残るため、維持管理ができない。農地を大きな区画に整備し直し、スマート農業を導入するとともに、外国人、女性、都市部住民の手を借りる必要がある【市川】 <p>[漁業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獲るだけの漁業はお金にならず限界が来ており、漁業者が減少。養殖業や、観光の要素を取り入れた「見せる漁業」がこれから先は重要【姫路】 <p>[林業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成熟した森林が放置状態にならないよう、人の手でいかに守っていくかが大事【姫路】 ・将来に期待して40～50年前に植えた材木の伐採時期を延ばす（一斉に伐採すると金にならないため）と山が循環しない【姫路】 ・スギやヒノキ、松等の活用の研究が進み、将来的に新たな活用方法（鉄に代わる材木等）の開発が実現すれば、林業の振興につながる【神河】
<p>多様な 働き方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎から起業家をどんどん輩出し、中播磨地域を元気に【デ】 ・非常識を常識にする（大企業信仰など今までの常識から一旦脱却し、地方からの起業など今の非常識を常識にする）【デ】 ・自然環境に恵まれ、都市部（姫路）にも近い家島はクリエイター職にとって最適な活動拠点（ワーケーション、テレワーク等）【姫路】 ・第一次産業でも農業や林業等を組み合わせた多様な働き方（生計を立てるために必要な情報のパッケージ化）が提示され、そうした情報がオープンになっていることが大事（田舎への移住の判断材料になる）【姫路】 ・子育て中・介護中の女性が働き、安定した収入が得られる地域づくりが必要（女性がその能力と技術を発揮できる場所づくり）【ヒ】 ・地元での「小商い」（「儲ける」ことよりも、自分のやりたいこと・責任のとれること・楽しみながらやれることを、自分の手の届く距離で行う働き方）による仕事づくりの萌芽が見られる【ヒ】
<p>教育</p>	<p>[チャレンジ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジしワクワクしている大人や、刺激、学びが都市部に比べて少ない（住むことや働くことにワクワクできる環境づくりが必要）【デ】

<p>教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の地域への期待感の低さが課題（チャレンジする人を応援する環境や、失敗しても許される風土がないため、若者は都市部へ出て行き、戻ってこない）【ヒ】 ・若者たちが地域に期待を持ち、いろいろな分野にチャレンジする社会（新しいことに取り組む若者を大人が応援する環境づくり）【ヒ】 <p>[個性を生かす]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学歴・偏差値を重視する傾向があるため、個性が尊重されない【デ】 ・少子化の中でも尖った人材が出てくることを期待【姫路】 ・優れた技術や才能を発掘し、アーティストや技術者、アスリート等を多く輩出【デ】 ・伸ばしたいところを伸ばせるような極端な選択肢も準備【デ】 ・子ども一人一人の個性が尊重される社会（教師だけでなく多様な考えや個性を持った人との出会いが大切）【ヒ】 <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校中退者を受け入れる土壌づくりが必要（教師のマンパワー不足を地域でカバー）【デ】 ・教師の負担を軽減するため、地域が学校をサポート（地域住民が自身の知恵や技術・ノウハウを生かして昔遊び等の授業や部活動を手助け）【市川】 ・人との関わり合いの中で育つ社会性は重要。オンライン授業で、人とコミュニケーションを取らないまま、社会に出て行くことに不安を覚える【市川】 ・学校教育の魅力を高め、発信することで、子育て世代の UJI ターンを促進【市川】
<p>地域コミュニティ</p>	<p>[ご近所力、地域力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域力とは、地域コミュニティの力であり、集団の力をいかに継続していくかが非常に大事【姫路】 ・地域力を高める活動として住民全員参加の草刈りを実施（子どもとの交流・教育の場、高齢者の健康状態確認の場として重要）【姫路】 ・挨拶が誰とでも気兼ねなくできる地域づくりが大事【デ】 <p>[地域活動の担い手]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代は、仕事を休んだり、自分の時間を使ってまで地域活動をしてくれない（将来のリーダー・後継者が育たない）【姫路】 ・昔と違って共働きの家庭が増えているので、地域活動（自治会、婦人会、子ども会等）は負担が大きい（役員の負担軽減が必要）【姫路】 ・人数が少ない過疎地域では、一人が複数の地域団体の役を兼任し負担が大きいいため、地域活動が停滞（やりたくても手が回らない）【姫路】 <p>[つながり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りは世代を超えた縦の付き合いができる場（地域やそこに住む人とのつながりができると愛着がわき、人口流出も減るのではないか）【福崎】

<p>地域コミュニティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規居住者や外国人が増え、地域のつながりが薄くなることで、困っている人が見えにくくなっている（民生委員として悩ましい）【福崎】 ・地域住民同士の交流が少なく、地域間でも一体感がない（地域活動をする人としらない人の格差が広がっている）【デ】 ・地域団体同士の横のつながりや交流・協力が大事（組織の形にこだわり、しがらみがあり過ぎる）【姫路】 ・地域のコミュニケーションの場づくりが大事（コロナ禍によるコミュニケーション不足でギスギスし、ちょっとしたことでトラブルに）【福崎】 ・コロナ禍で祭りや伝統行事等がすべて中止になり、地域でのふれあいの機会がなくなった（来年も再来年もこの状態が続くと今まで築き上げてきたものが崩れ去り、地域は持たない）【福崎】 ・地域や家庭における行事の簡素化が進み、人と人との絆・ふれあいが薄くなってきている【市川】 <p>[地域コミュニティのアップデート]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路市は自治会加入率が高い（約 90%）が、将来的に維持できるか心配（コミュニティが疲弊し始めている）【姫路】 ・ボランティアに意欲的な若者と地域コミュニティの間の断層ギャップ（若者が考えるボランティア・地域活動と自治会活動等との乖離）を埋めないと、若者を引きつける地域組織はできない【姫路】 ・地域活動に関心があっても、地域コミュニティの中で居場所を見つけられない人もたくさんいる【姫路】
<p>子育て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援は、親が気安く相談できる場所づくりが必要【福崎】 ・地域ぐるみでの子育てや見守りが困難になっている（最近の子どもはゲームばかりで外に出ないため、どこの子どもか分からない）【福崎】 ・小中学生の多くがスマートフォンを所持するようになり、子どもたちのトラブルが親にも教師にも見えにくくなっている【市川】 ・女性の社会進出が求められているが、そもそも子どもの預け先がないと働けない（待機児童問題）【デ】 ・子育ての負担が母親に集中していることが課題【ヒ】
<p>地域福祉ユニバーサル</p>	<p>[高齢者]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的に増加が見込まれる高齢者の一人世帯を見守る地域づくりが必要【検】 ・人生 100 年時代を迎え、様々な高齢者（元気、体が不自由、一人暮らし等）が地域社会の中で互いに協力・助け合う仕組みづくりが必要【姫路】 ・定年後の元気な高齢者が介護講習を受講（行政が受講料を支援）し、後期高齢者を支える仕組みはどうか【姫路】 ・高齢者の独居や引きこもりを防止するため、二世帯住宅へのインセンティブを設けてはどうか【市川】

<p>地域福祉 ユニバーサル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が社会とつながる居場所づくりの役割を果たす老人クラブは、会員が減少傾向（社会からの隔離による認知症リスクの高まり）【姫路】 ・人生 100 年時代に生きがいを持って暮らすためには、高齢者の働く場や学ぶ場、趣味を見つける機会を作ることが大事【市川】 ・高齢者が地域の伝統文化等を若い世代に伝えることは、高齢者の生きがいづくりにつながる【市川】 <p>[ボランティア]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動の原動力であるボランティアの担い手不足（地域福祉活動への無関心、若年層の互助精神の欠如、IT 情報化による人のつながりの希薄化）【ヒ】 ・ご近所ボランティア（ゴミ出し等の困りごとを近所で有償で助け合うシステム）を導入したところ非常に好評【姫路】 <p>[ユニバーサル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの目を気にせず自由に行動でき、周りの人もそれを当然のことと受け入れるまちづくりが大事【デ】 <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護・福祉・医療分野の人材不足（人材が育たない、職業として選ばれない）【検】 ・地域福祉の認識を深めるには、小中学生からの福祉教育が必要【姫路】
<p>健康づくり 医療</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人生 100 年時代を迎えるにあたり、運動等の健康づくりを行うことで、健康寿命を延ばしていくことが大事【市川】 ・高齢者の健康づくりのため、少子化により使われていない学校の運動場を活用して、大きな公園を整備してはどうか【市川】 ・食事は暮らしていく上で大事な要素の一つなので、「食」をテーマにした活動（食育、栄養教室等）はいつまでも必要【姫路】 ・オンライン診療の整備による地方における医療不安の緩和に期待（テレビ電話で医者または AI が怪我や病気を診断、ドローンによる薬の配達）【ヒ】
<p>まちづくり 地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中播磨地域においても都市部と山間部との格差が拡大【ヒ】 ・広い中播磨を一律で考えるのは無理がある。都市部と郡部、それぞれの良さを生かすまちづくりに期待【デ】 ・自転車で 15 分以内で行ける範囲内に、自分が求める場所・施設等があるまちづくりが望ましい【デ】 ・学校、病院、養護施設、老人施設、公園などを融合・集約したまちづくり（スマートシティ）【市川】 ・コンパクトなまちづくり【検】 ・水や空気の美味しい、子どもや高齢者に優しい地域（適切な自然環境、工場配置、商業配置、住宅配置、交通網などの見直しが必要）【ヒ】 ・地元が好きで残りたい思いはあっても、生活していくためにはやは

<p>まちづくり 地域づくり</p>	<p>り仕事や住むところも必要【福崎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域を市街化区域に見直し、住宅を建設可能な地域を増やすべき（地元の家を建てる場所がなく、町外に出て行く人がいる）【福崎】 ・地縁者でなくても住めるよう新規居住者エリアの拡大が必要【福崎】 ・このまま人口が減り続けた場合に、税収も減る中で今までどおりの行政サービスが受けられるのか不安【市川】 ・人口減少社会において上下水道や道路、文化施設等を維持するためには、広域化や先端技術導入等によるコストダウンが必要【神河】 ・人と人が触れ合うことをベースとしたまちづくりも大切（人との触れ合いの中で感じられる「わざわざ」（「わざわざ」足を運ぶ、「わざわざ」会いに行く）とテクノロジーの進歩の共存が望ましい）【ヒ】
<p>環境保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで景観が良い地域も都会の倉庫になりつつある【デ】 ・ポイ捨てによるゴミが多い（住民によるゴミ、観光客によるゴミ）【デ】 ・少子高齢化で農業の担い手がいいため、草が生えっぱなしの放棄水田が増え、地域の景観が損なわれていくことを危惧【福崎】 ・上流の過疎地域で森林が荒れると里山の保水性が失われ、下流の河川の水害につながる（街中の人の上流と交流し、山の管理等を手伝う）【姫路】 ・治水の要は治山にあり（上流域を保全するためには山をしっかりと守っていくことが必要）【姫路】 ・里山管理の放置による環境劣化、獣害問題（人口減少により放置された里山が増え、シカ・イノシシ等の獣害が増加）【ヒ】 ・子どもたちが自由に自然環境に触れることができる場の維持が大切（里山に代表される自然が、獣害問題等により危険なものと思われる風潮の改善）【ヒ】 ・二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減が求められる中、二酸化炭素を排出する製造業は業態の変換が迫られる（逆にそれが新しい産業になっていくのかもしれない）【姫路】
<p>安全安心</p>	<p>[防災・減災]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中播磨地域で予想されている最大震度は7（山崎断層）であるが、住民の防災意識が低くあまり知られていない（防災が自分事になっていない）【姫路】 ・企業人や子育て中の母親など様々な人に、防災に少しでも関心を持ってもらうための工夫が必要【姫路】 ・江戸時代に姫路に作られた防災備蓄倉庫「<small>こねいそう</small>固寧倉」（姫路周辺に8カ所現存）は大事な地域遺産であるが、ほとんど知られていない【姫路】 ・人口減少下で消防団員の確保が困難（活動維持のため女性消防団の活用も検討中）【福崎】

<p>安全安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の消防車や装備の性能が上がってきており、更新するのに費用がかかる（大半を村で負担しないとイケないため苦しい）【福崎】 ・共助による地域防災力の強化が必要（ご近所とのつながりの見直しが必要）【ヒ】 <p>[地域安全]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットに関わるトラブルや犯罪が増え、青少年の犯罪・非行が潜在化しているため、街頭補導だけでは対応が困難になっている【市川】 ・駅前に交番を配置することで、犯罪の抑止力につながる【市川】
<p>芸術文化 伝統文化</p>	<p>[芸術文化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化など生活を楽しく豊かにするソフトの充実が必要（姫路城周辺をはじめ市内に点在するミュージアムの魅力向上と相互連携により、まちの文化度を向上）【ヒ】 <p>[伝統文化、ふるさと意識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化の継承（祖父から魚の捕り方を教わる等）が残っているのが中播磨地域の良さ【デ】 ・子どもの時から地元の偉人について教えることで、郷土愛やふるさと意識が醸成される（進学や就職で都市部に出て行っても、最終的に地元に戻ってくることに期待）【市川】 ・中播磨が誇る文化財（姫路城などの歴史文化資源、灘のけんか祭りなどの播州秋祭り等）を、これらを支える住民とともに未来に引き継ぐべき【検】
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中途半端な都会であり、住民がコンプレックスを抱いている（神戸・大阪への憧れ）【デ】 ・テクノロジーばかりが注目されるがアナログだからこそその価値がある【デ】